

観光振興に向けて！前島航路の「スナメリに出会う瀬戸内クルーズ」



平川 敏郎 議員

前島に公衆便所、
休憩所の整備を！

問 観光振興の一つとして前島航路の「スナメリに出会う瀬戸内クルーズ」における観光資源の整備について、スナメリウオ

ツチングだけでなく、前島での観光として上陸しても公衆便所や休憩施設が未整備なため、観光客はそのまま復路となっている。観光客増加には、最低限の環境整備として、休憩施設及び公衆便所の整備が必要である。

消防団の毎月の訓練及び釣り客等のマナーの改善策等で、観光資源の整備について町長の見解を問う。

答 「スナメリに出会う瀬戸内海クルージング」については、



▲ スナメリに出会う瀬戸内クルーズ



▲ 利用客で賑わう前島行き渡船乗り場



▲ 前島港

スナメリに出会うことへの期待と往復約一時間のプチクルージングの手軽さが魅力であり、公衆トイレの整備がないため渡船利用者にも不便になっている。消防団の長時間訓練にも同様のトイレ事情と考えている。

笠佐島、浮島、情島の3離島航路では整備している現状を踏まえ、諸課題を整理し観光担当、消防担当、渡船担当等の関係課と連携をとり、トイレ整備について今後検討していく。

なお、休憩施設については渡船待合室を有効利用することも選択肢の一つと考えている。

前島での民泊を！

問 前島における民泊型修学旅行受け入れについて、受け入れ

世帯の高齢化が進み、体力や健康面等で受け入れを取りやめるケースが増えている。この前島で個人宅から近所の複数世帯が協力し、宿泊を地区の集会所や公民館等で行う方法はいかがか。過去には、この地でサマースクール等の宿泊体験が実施された事例もある。

以上の点で見解を問う。

答 民泊型修学旅行で訪れる学校は、民家で農業や漁業などの家業を体験することを目的としており、農家と漁家が協力して体験を行っている事例はあるが、個々の民家に宿泊し民泊家庭の方と心と心の交流を通じコミュニケーション能力を高めることが大切と考えている。

地区の集会所や公民館への宿泊は、目的にそぐわないと考える。

要望 前島の自然と伝統を大いに活用し、昨年地方創生会議が公表されたことに對し、払拭に向けて町長、執行部、議会が丸となって力を注がなければならぬと考え、今一度切に願います。